

あおぞら

笑顔

走る『あおぞら号』

希望

みたかハンディキャブ交流誌
2021(令和3)年 春季号 Vol.145

協力：朗読ボランティア 【ういろうの会】

理事長雑感 ウィズコロナってなんだ？

どうやってウィズコロナしようかと考えているうちに年が明け、つまづきの丑年となった。

景気の世界ではずっこける年らしいが、日経平均の理由なき上昇、米国株の最高値更新は怖いものがある。医療崩壊などと大騒ぎしているのに、その裏で大儲けしている人たちがいるということ。つまりウィズコロナとはうまくそういう波に乗るか、それができないのであれば失業と貧困にうまく付き合っていくことと理解する。どこにも出かけず三食カップラーメンを食べても壊さない体をつくれればよろしい。ウィズコロナといってもインフルエンザと同じで、かかる人はどんなに抵抗してもかかり、適当にしていってもかからない人もいている。

結局以前からの、日頃の心がけが大事なわけで、急に消毒したり、マスクしたりすることも必要だが免疫力を向上させる努力をすることも重要だと思う。今になって急に酒飲むのを止めたり、野菜中心の食事したり、運動を始めたり、効能のあやしいサプリメントを飲んだところで免疫力は向上しない。「良いマスク無くすまいよ」（回文です）とがんばったところで所詮は「悪あがきがあるわ」（回文です）なんだよね。

とはいうものの、キャブを守るために三密は避け五つの約束はしっかり守るようにいたしましょう。

福祉有償運送運転者講習会開催

2020(令和2)年11月28日(土)、29日(日)2日間にわたり標記講習会が開催されました。受講者は8名、このうち4名の方が「みたかハンディキャブ」のボランティアドライバーとして私たちの仲間として加わっていただきました。



加持理事長自らの熱講義



受講者の自己紹介



熱心に講義に聞き入ります



2日間の講習修了式



車両を利用した実習



日野杜宙氏【利用者】自叙伝ご紹介『雪虫』

「雪の匂いのこと。雨とも違い、ただ嵐とも違い、つまりのことは鼻につんとくる…そうだ！あの匂いのことだ。しばれることよりも、もうちょっと前。輝く真っ白な雪の匂い。白い雪虫は、体験せる者でなければわからない。」

あれから50数年が経ち、ボクは雪虫とは縁のない世界に生きている。ボクにとって雪虫とは、「冬の訪れを告げる風物詩」であり、郷土を思い起こさせる馴染み深いものである。しかし、最近は大量発生により多くの被害が出ており、皆から邪魔者扱いされているとのこと。どうやら地球温暖化で繁殖が進んでしまったようだ。去年は、平年の十倍の雪虫が飛んだというのだから驚きだ。

先日、ひょんなことから北海道出身の女性と知り合いになった。彼女は、「雪虫なんて嫌いです。」と話す。人によって、これほど印象が違うなんて…不思議だなあ。



雪国の日野氏生家



新人ボランティアさん紹介【敬称略】

◆及川博子



三鷹市報でハンディキャブ運転者の募集を拝見いたしました。こちらの活動を知りました。最近仕事を辞めた為、なにか地域の社会活動に参加させていただきたいと思っていました。

諸先輩方の御指導とご利用者様のご協力を賜り励んでまいりたいと思います。

◆久保内 薫



かねてより、地方の過疎地での車輛ボランティアを探していた。が、条件が合う地が見つからない。そこで、取り敢えず地元で、と思い三鷹市役所を訪ねた。紹介されたのが“みたかハンディキャブ”だった。早々事務所にうかがった。運転ボランティアを希望している旨を伝えると、対応してくれた、須山さんは満面の笑みで迎えてくれた。即座に入会を決めた。見通しの立たない世情。せめて、利用者さんには、明るく生き生きと接したい。何よりもまた、様々な人との邂逅が楽しみだ。

◆中澤隆二



三鷹市下連雀在住の中澤隆二です。市内で児童発達支援事業及び放課後等デイサービスを運営しております。

運転が好きなので、参加させていただきます。よろしくお願いします。

◆岡山 徹



井の頭公園で野球をしていたのがきっかけで、久保さんと知り合い、あれよあれよという間にハンディキャブのお仲間に入っております。元はと言えば、15才の豆柴を亡くし、ひどいペットロスから、気を紛らわす意味もあり加入。この仕事は愛犬のモモが引き合わせてくれた縁かもしれません。モモはまな娘も同然で、家族を失ったも同然。犬も認知症になると実感しました。

人間の介護だけでなく、ペットで苦労している人のタクシーもできるようになるのが夢です。物を言えない犬の介護も実際本当に大変なのです。犬や猫も家族です。三鷹市もそこに気づいてくれればいいと、近々ペット介護士の勉強も視野にいています。

新参者の岡山と申します。忘れ物が多いので、仲間内では忘れん坊将軍と。いずれキャブのお世話になるかも。(笑)仕事は英語・映画関係の翻訳をしております。ロック・バンドと万年人手不足の草野球の監督でもあります。不束者ですが、どうぞご指導「ごめん」撻のほど。



秋の交通安全表彰

春に続き秋の交通安全表彰が12月23日(水)上連雀分庁舎会議室で行われました。

警視庁交通部長から伊藤 五十鈴※Vo.が「優良運転者章」を、三鷹警察署長からは吉沼徳人Vo.が「三鷹警察署長賞」を受賞しました。

今後も無事故無違反で日々の運行をお願いします。

※Vo. = ボランティア



伊藤 五十鈴氏



吉沼徳人氏

今後の予定

心配された新型コロナの猛威がなかなか治まらず、年明けには第二段の緊急事態宣言が発出されました。しかしながら、みたかハンディキャブにおいては、利用者さんや正会員の皆さんの注意深い対応、具体的な対策が功を奏し、関係者に感染者を出すことなく、運行ご利用数は用心のため減ってはいるものの、お陰様で日常の活動を中止することなく継続できております。今後も、現時点においては運行を含め、引き続き感染防止に努めつつ活動していく予定です。

今後の主なイベントとして、毎月の理事会や車両清掃・報告会の開催、各種メディアを利用した運転ボランティア募集活動等を引き続き進めると共に、3月13日(土)、14日(日)に計画している福祉有償運転者講習会も予定通り実施することとしています。また、4月25日(日)に予定している総会や、春の交流会に向けた準備も進めております。

咳が出る、喉が痛くなる、熱が出る、の3つのうちどれかの症状が出た前後2日間が人に感染させる可能性が高いといえます。今後とも、引き続き活動を継続できる様、皆様と共に体調に敏感になって、気を引き締めて取り組んでいきたいと思ひます。ご協力の程、お願い致します。

春の交流会予定

昨年は思いもよらない一年になりました。利用者さんとボランティアの交流会の場である“日帰り交流会”は一度も実現しませんでした。春の交流会の日時は、5月23日(日)と決めております。

コロナ禍ではありますが、それでも何とか“密”にならないような場所で、楽しい時間を過ごせるようにしたいと思ひ、企画をしています。新型コロナウイルス感染状況を見ながら実施できるかどうかをなるべく早く判断をしたいと思ひます。

後日、別便でお知らせをしますので5月23日(日)を予定に入れておいてください。

今度こそ、実施できるといいですね。お楽しみに！

みたかハンディキャブホームページ

QRコード



緊急連絡先



★運行管理者【東垣】★

080-1102-7281

上記連絡先に不通の場合のみ

下記の連絡先へご連絡ください。

＊須山:080-2150-9696

＊加持:090-1105-7162

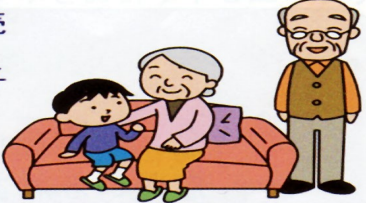


株式会社
サカイ・ヘルスケア

私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



<サカイ・ヘルスケア三鷹店>
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

『NPO法人 みたかハンディキャブ 交流誌』

＊発行／NPO法人 みたかハンディキャブ

＊発行責任者／理事長 加持真人

＊〒181-0012 三鷹市上連雀8-3-10 三鷹市上連雀分庁舎

＊TEL／0422-41-0185 ＊FAX／0422-41-0274

＊E-mail／mcab3@jcom.zaq.ne.jp

＊URL／<https://www.mcab.jp/>

発行日：2021(令和3)年3月1日

